

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020年 9月 14日作成 第 2 版

<b>研究課題名</b>	施設アンケートによる嵌頓子宮症例の病態に関する研究
<b>研究の対象</b>	関東圏の総合周産期母子医療センターおよび地域周産期母子医療センターで 2010年 1月 1日～2020年 3月 31日の間に分娩し、妊娠中に嵌頓子宮と診断された方
<b>研究目的 ・方法</b>	嵌頓子宮は非常にまれな疾患です。子宮破裂の原因になることがあり、嵌頓子宮のままでの経膈分娩は非常に危険であることから、帝王切開術が望ましいとされています。自然に治ることもあります。実際にはどれくらいの割合で治るのか、またどのくらいの週数で治るのかなど、知られていないことがたくさんあります。そのため、関東圏の総合周産期母子医療センターおよび地域周産期母子医療センターへのアンケート調査を行い、嵌頓子宮と診断された方の情報を収集し、嵌頓子宮の詳細を調査していきます。
<b>研究期間</b>	西暦 2020年 7月 27日 ～ 西暦 2022年 3月 31日
<b>研究に用いる 試料・情報 の種類</b>	関東圏の総合周産期母子医療センターおよび地域周産期母子医療センターへのアンケート調査で、身長体重など身体情報のほか、超音波検査、MRI 検査の情報、嵌頓子宮の大きさや位置、分娩方法、新生児の体重、分娩週数などの情報を収集し、検討します。 情報提供を受ける施設： 総合病院国保旭中央病院 順天堂大学医学部附属浦安病院 東京女子医科大学病院 昭和大学病院 東京大学医学部附属病院 東京慈恵医科大学附属病院 東京医科大学病院 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 浜松医科大学医学部附属病院 社会福祉法人陰陽財団母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター（研究責任者）小畑 聡一郎

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784